

2024 年度 研究所事業報告書

研究所名	アート・リサーチセンター
------	--------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所の実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどを行い、できるだけわかりやすく記述してください。

なお、2024 年度に採択を受けた研究所重点研究プログラムの詳細な実績報告は、プロジェクト毎に書式 B に記述のうえ提出してください。

2024 年度は、私立大学・人文科学分野で唯一認定を受けている文科省「国際共同利用・共同研究拠点」としての 6 年目（第一期最終年）にあたり、一つの区切り目となる成果を示すべく活動を展開した。すなわち、その活動の成果指標として、学外プロジェクト登録数を 100 件以上、つまりは 3 桁に乘せることを目標に掲げてきたが、まさにそれを実現した年度となった。その内、30 件は海外のプロジェクトリーダーによるものであり、さらに学内プロジェクトも 20 件以上を受け入れている。

デジタル・ヒューマニティーズ(DH) 分野では、機械可読性の高い構造化データをビッグデータとして活用したデータ駆動型研究を目指す方法性が、国内でも一つの目標として設定された。ARC はその独自性を可視化するため、「デジタル・パブリックヒューマニティーズ(DPH)」を大きな柱として選定した。DPHは、従来のパブリックヒューマニティーズの概念を大きく転換するものであり、一般市民が能動的に知的生産活動を展開し、アカデミックに属する研究者を超える段階を想定した上で、新たにに構想・構築される知的生産システムである。そこには、現状の大学の解体と再生も要求されるものである。

ARC が持つ世界レベルの技術にデジタル化技術がある。2 次元資料に対する超高速デジタル化技術は、多くの国際連携を生んでおり、また国内の文化資源のデジタル・アーカイブ構築にも寄与している。これは、世界のどの研究機関にもない強みである。2024 年度は、この技術や実績によりカリフォルニア大学ロサンゼルス校との大規模な連携プロジェクトが具体化した。

年度当初に設定した主要課題は以下の 7 点である。それぞれの成果を報告する。

(1) デジタル・アーカイブ活動のさらなる推進(リソースおよび技術の双方の追求)

夏・春の海外デジタル化遠征を大規模に展開した。国内でも、いくつかのテーマの世界最大コレクションのデジタル・アーカイブを実現した。専門研究者向けデータベースシステムに加えて、市民研究者向けのインターフェイスの開発を行った。

(2) 積極的な DH 教育普及活動による国内・海外におけるデジタル化ブランチの形成

英国に加えて、米国 UCLA にデジタル化ブランチ設置、国内では、関東方面に1チームを稼働させた。

(3) データ駆動型研究を実現させる研究環境である ARC リサーチ・スペースの構築と更新

動画・音声アーカイブの機能強化を行いデータアーカイブシステムの対象が広がった。生成 AI や VR について、外部企業や海外大学とのコラボレーションによる研究が展開しており、研究活動の中枢に躍り出た。

(4) Deep Learning、生成 AI などの最新技術を応用した強力なデジタルツールの開発と ARC リサーチ・スペースへの実装

(5) ARC リサーチ・スペースのデジタルツイン実現による、研究プロジェクトの ARC リサーチ・スペースへの誘導

(6) 次世代リサーチ・スペース「リサーチ・メタバース」の導入可能性の検証と環境整備

生成AIの導入は部分的にとどまり、研究プラットフォームとしてのメタバースの導入に遅れが出た。一方では、ユーザビリティの向上を図ったインターフェイスの開発を行った。

(7) 研究マネジメント力・研究実践力を養う若手研究者育成、将来の国際連携を視野に入れた若手研究者育成

海外インターンシップ、若手研究発表会、国際セミナー発表とビュー執筆テクニカル・サポートボードへの参画など豊富なメニューにより若手研究者を育成している。

2024 年度、本学は新しい学部・研究科「デザイン・アート」を新設することを決定し、ARC が蓄積してきた研究成果・デジタル・アーカイブ機能が、新学部の構想の基盤に組み入れられることとなった。「アート」という本来の領域を中核に据える学部・研究科を背後に持つことで、ARCでもより強固なコアなテーマや継続でき、学部間横断、国際連携において従来の横断・連携型研究スタイルをさらに強化できるだろう。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2025 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員 (PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長	赤間 亮	文学部	教授
運営委員	前田 亮	情報理工学部	教授
	矢野 桂司	文学部	教授
	木立 雅朗	文学部	教授
	高野 明彦	衣笠総合研究機構	教授
	竹中 悠美	先端総合学術研究科	教授
	田中 覚	情報理工学部	教授
	西浦 敬信	情報理工学部	教授
	西林 孝浩	文学部	教授
	THAWONMAS, Ruck	情報理工学部	教授
	山内 啓之	衣笠総合研究機構	准教授
	SEIFMAN, Travis	衣笠総合研究機構	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	大田 壮一郎	文学部	教授
	加藤 政洋	文学部	教授
	河角 直美	文学部	教授
	田中 聡	文学部	教授
	花岡 和聖	文学部	教授
	三須 祐介	文学部	教授
	矢野 健一	文学部	教授
	小寺 未知留	文学部	准教授
	谷 徹也	文学部	准教授
	島川 博光	情報理工学部	教授
	李 亮	情報理工学部	教授
	岩居 健太	情報理工学部	講師
	耿 毓庭	情報理工学部	助教
	中村 彰憲	映像学部	教授
	竹田 章作	映像学部	教授
	渡辺 修司	映像学部	教授
	奥出 成希	映像学部	教授
	飯田 和敏	映像学部	教授
	北原 聡	映像学部	教授
	斎藤 進也	映像学部	准教授
	福田 一史	映像学部	准教授
	毛利 仁美	映像学部	講師

学内の若手研究者		孟 林	理工学部	教授
		稲葉 光行	政策科学部	教授
		八重樫 文	経営学部	教授
		田中 弘美	OIC 総合研究機構	教授
		鷹取 慧	OIC 総合研究機構	助教
		大場 修	衣笠総合研究機構	特別招聘研究教員（教授）
	① 専門研究員 研究員 初任研究員	シン ジュヒョン	衣笠総合研究機構	専門研究員
		堀池 理生	衣笠総合研究機構	研究員
		半田 侑子	衣笠総合研究機構	研究員
	② リサーチアシスタント	安宅 望	文学研究科	博士課程後期課程
		武内 樹治	文学研究科	博士課程後期課程（学振DC）
		戸塚 史織	文学研究科	博士課程後期課程（学振DC）
		平野 理紗子	文学研究科	博士課程後期課程（RARA 学生フェロー）
		寶生 紗樹	文学研究科	博士課程後期課程（RARA 学生フェロー）
		張 宇涛	情報理工学研究科	博士課程後期課程
		陳 鵬	情報理工学研究科	博士課程後期課程
		江川 琢真	情報理工学研究科	博士課程後期課程
		閻 彦橋	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	③ 大学院生	井上 萌来	文学研究科	博士課程前期課程
		石松 智子	文学研究科	博士課程前期課程
		田畑 勇也	文学研究科	博士課程前期課程
		塚本 剛生	文学研究科	博士課程前期課程
		北岡 沙映	文学研究科	博士課程前期課程
		野村 奏子	文学研究科	博士課程前期課程
		伊丹 稀星	文学研究科	博士課程前期課程
		岡崎 壮彦	文学研究科	博士課程前期課程
		松崎 恵哲	文学研究科	博士課程前期課程
		尾本 将史	文学研究科	博士課程前期課程
		部屋 裕俊	文学研究科	博士課程前期課程
		井上 雄介	文学研究科	博士課程前期課程
		金子 ひな	文学研究科	博士課程前期課程
		ZHANG Yi	映像研究科	博士課程前期課程
		Chollakorn Nimpattanaavong	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Pittawat Taveekitworachai	情報理工学研究科	博士課程前期課程
		Xiao You	情報理工学研究科	博士課程前期課程

	後藤 佳亮	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	長谷川 稜介	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Shuang Zhao	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Siyuan Chen	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Kantinan Plupattanakit	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Pratch Suntichaikul	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Boyu Chuang	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Menghan Zhang	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Yiyang Liu	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Shouchen Ye	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	MOU Guanda	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	倉本 凌	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	見附 拓馬	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	松本 章吾	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	泉 青葉	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	田邊 雄士	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	日渡 貴之	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	小柴 雄人	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	平川 拓	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	横山 大貴	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	GAO Jiajun	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	池崎 陽人	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	内木 正太	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	中野 隼汰	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	DU Xinyu	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	井澤 幸平	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	今中 峻太	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	岩上 瑞希	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	加藤 昂	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	中野 裕貴	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	西尾 樹	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	水谷 真紘	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	牟 冠达	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LI Ximing	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Zhang Cailing	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	DENG Peng	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LI Yuanhao	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	WANG Jiayue	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	XU Linchun	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LIU Zipei	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	LEI Xintong	情報理工学研究科	博士課程前期課程

	CHEN Tian	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	CUI Shidi	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	PAN Yubo	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	WU Di	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	YANG Junyi	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	ZHU Yangyang	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	SUN Borui	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	Yuchen Tian	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	茅清宇	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	山田 祐里	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	野尻 捷月	情報理工学研究科	博士課程前期課程
	吉津 侑哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	WANG Xiangheng	理工学研究科	博士課程前期課程
	石橋龍人	理工学研究科	博士課程前期課程
	張 翌	映像研究科	博士課程後期課程
	山田 侑哉	映像研究科	博士課程後期課程
	リュウ サンゲツ	映像研究科	博士課程後期課程
	CHO Kyungwon	映像研究科	博士課程後期課程
	LOU Like	映像研究科	博士課程後期課程
	XIE Yuhan	映像研究科	博士課程後期課程
	福井 優	文学研究科	博士課程後期課程
	蛭子 良風	文学研究科	博士課程後期課程
	山本 睦月	文学研究科	博士課程後期課程
	落合 優翼	文学研究科	博士課程後期課程
	濱野 未来	文学研究科	博士課程後期課程
	吉水 希枝	文学研究科	博士課程後期課程
	Fajar Dewantoro Mury	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Xiaoxu Li	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Febri Abdullah	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Ibrahim Khan	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Van Thai Nguyen	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	Yi Xia	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	KHALTARKHUU Garmaabazar	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	WU Bohao	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	藤原 航輝	情報理工学研究科	博士課程後期課程
	向江 駿佑	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	中村 由衣	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	Wu Zewei	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	権藤 千恵	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	TONG Haorui	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
	西澤 忠志	先端総合学術研究科	一貫制博士課程

		荒木 慎太郎	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
		嶋津 麻穂	先端総合学術研究科	一貫制博士課程
		Ge Yifei	理工学研究科	博士課程後期課程
		長谷川 綾音	人間科学研究科	博士課程後期課程
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究生、研修生等)	④ 日本学術振興会特別研究員 (PD・RPD)	川口 成人	日本学術振興会特別研究員 (PD)	
		川嶋 将生	衣笠総合研究機構	研究顧問
		JI Shenyu	総合科学技術研究機構	補助研究員
		鎌田 遼	衣笠総合研究機構	補助研究員
		村田 俊人	衣笠総合研究機構	補助研究員
		鈴木 桂子	文学研究科	授業担当講師
客員協力研究員		細井 浩一	「ZEN 大学（仮称・設置認可申請中）歴史アーカイブ研究センター」/衣笠総合研究機構	所長/上席研究員
		鷺巣 力	衣笠総合研究機構	プロジェクト研究員
		BATJARGAL Biligsaikhan	OIC 総合研究機構	プロジェクト研究員
		東野 陸	立命館大学衣笠総合研究機構 アート・リサーチセンター	プロジェクト研究員
		木村 文則	尾道市立大学 経済情報学部	准教授
		高須 奈都子	大阪商業大学	非常勤講師
		佐古 愛己	佛教大学 歴史学部	教授
		谷 昇	立命館大学衣笠総合研究機構 アートリサーチセンター	客員研究員
		岩切 友里子	立命館大学衣笠総合研究機構 アート・リサーチセンター	客員研究員
		本多 健一	立命館大学衣笠総合研究機構・アート・リサーチセンター	客員研究員
		MARCEAU Lawrence Edward	立命館大学衣笠総合研究機構 アート・リサーチセンター	客員協力研究員
		山本 真紗子	立命館大学	非常勤講師
		高橋 千晶	同志社大学文学部	嘱託講師
		石上 阿希	京都芸術大学	芸術学部 准教授
		田島 等	学校法人上田学園	理事
		大西 秀紀	京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター	客員研究員
		亀田 和子	ヘブライ大学	客員教授
		中村 恵美	早稲田大学演劇博物館	招聘研究員
		前崎 信也	京都女子大学家政学部生活造形学科	教授
		HAFT Alfred	Department of Asia, BRITISH MUSEUM, UK (大英博物館アジア部門 学芸員)	Curator

	VESCO Silvia	Japanese Art History, Ca' Foscari University of Venice, Italy	Associate Professor
	丸川 雄三	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部	准教授
	岩田 秀行	立命館大学 衣笠総合研究機構	客員研究員
	廣瀬 千紗子	同志社女子大学	名誉教授
	竹内 千代子	立命館大学	非常勤講師
	MIKES Marek	Department of Japanese Studies, Masaryk University	Assistant Professor
	Annegret Bergmann	Freie Universität Berlin, Institute of Art History, East Asian Art	Visiting Professor
	津田 光弘	立命館大学 衣笠総合研究機構	客員研究員
	山路 正憲	デトロイト トーマツ コンサルティング合同会社	社員
	矢野 明子	大英博物館アジア部	三菱商事キュレーター（日本コレクション）
	CLARK Timothy Thorburn	British Museum（大英博物館 名誉研究員）	Honorary Research Fellow
	TINIOS Ellis	School of History, University of Leeds, UK（イギリス リーズ大学歴史学部）	Honorary Lecturer 名誉講師
	細井 尚子	立教大学異文化コミュニケーション学部	教授
	今井 将樹	大日本印刷株式会社	リーダー
	PELLECCHIA Diego	京都産業大学 文化学部 京都文化学科	准教授
	松葉 涼子	Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures	Lecturer in Digital Japanese Arts and Humanities
	IEZZI Julie Ann	Dept. of Theatre and Dance, University of Hawai'i at Mānoa	Professor and Associate Chair
	Alessandro BIANCHI	World Collections at the Cambridge University Library	Head
	Simon KANER	Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures(SISJAC) セインズベリー日本藝術研究所	Executive Director

	HUBER Brigitte	チューリッヒ大学	PhD Student, Specialist Asian Art, Art historian
	金子 貴昭	京都先端科学大学人文学部歴史文化学科	准教授
	永塚 憲治	公益財団法人研医会	研究員
	小島 一成	近畿大学産業理工学部情報学科	准教授
	加茂 瑞穂	武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科	講師
	Mueller Doreen	Leiden University, Institute for Area Studies, Japanstudies(ライデン大学地域研究研究所 日本研究 大学講師)	Assistant Professor,
	李威特 (Li Weite)	重慶工商大学 情報工学部人工知能学科	専任講師
	佐藤 弘隆	愛知大学地域政策学部	准教授
	瀬戸 寿一	駒澤大学 文学部 地理学科	准教授
	塚本 章宏	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域	准教授
	松岡 恵悟	立命館大学文学部／龍谷大学／武庫川女子大学／京都女子大学	非常勤講師
	舘野 まりみ	早稲田大学文学部	非常勤講師
	飯塚 公藤	近畿大学総合社会学部	准教授
	米倉 迪夫	東京文化財研究所	名誉研究員
	杉浦 和子	京都大学	名誉教授
	土田 勝	日本電信電話株式会社 コミュニケーション科学基礎研究所	研究主任
	井上 学	龍谷大学文学部歴史学科日本史学専攻	教授
	河原 大	株式会社キャドセンター 大阪事業部 空間情報デザインチーム	講師
	鹿内 菜穂	亜細亜大学 経営学部 経営学科	准教授
	大矢 敦子	京都文化博物館	学芸員
	潘姣(Jiao PAN)	北京科技大学	講師
	倉橋 正恵	近畿大学文芸学部	准教授
	宮田 悠史	一般社団法人日本財団ドワンゴ学園準備会 歴史アーカイブ研究センター	研究員
その他の学外者	Henry Smith	Columbia University	Professor

	杉本重雄	筑波大学	名誉教授
	橋本 真佐子	沼津工業高専 教養科	助教
	Marquet Christophe	フランス国立極東学院（同学院京都支部代表）	教授
	王 嘉韻	ハイシンク創研	シニアエンジニア
	花崎 あゆみ	公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター	課長補佐
	SCREECH Timothy Benjamin Mark	国際日本文化研究センター	教授
	Moro Daniela	University of Turin	Associate Professor
	荒井 美礼	一般財団法人北斎館	学芸員
	森 慈尋	花園大学	臨済宗永源寺派教学部 教学部員/国際禅学研究所 客員研究員
	畑 恵里子	静岡英和学院大学 人間社会学部 人間社会学科	教授
	朝日 智雄	口絵研究科 / タイコー株式会社 会長	
	小倉 拓郎	兵庫教育大学学校教育研究科	講師
	Cabañas, Pilar	Universidad Complutense de Madrid	Associate Professor/ Reader in Art History
	常木 佳奈	久留米工業高等専門学校・一般科目（文科系）	准教授
	MCCORMICK John	Interactive Media, Swinburne University of Technology Australia	Associate Professor
	CUCINELLI DIEGO	フィレンツェ大学日本語文学	上級研究員（RTD B）
	Dewi Fitriana Puspita	ブラウイジャヤ大学文化学部	講師／助教授
	蟬塚 咲衣	小樽市総合博物館	学芸員
	菅沼 明正	九州産業大学地域共創学部 観光学科	講師
	KENDRIGAN Donna Maree	ロイヤルメルボルン工科大学	図書館司書
	Henschke Christopher Vernon	ロイヤルメルボルン工科大学	大学講師
	BINCSEK Monika	メトロポリタン美術館	アソシエート学芸員
	Mohamed Soliman	Ministry of Tourism and Antiquities (MoTA) エジプト観光遺跡省	Senior archaeologist 古代遺物上席監察官

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2025 年 3 月 31 日時点)
また、書式 B の研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

(1). 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1.	赤間 亮	絵入狂言本総覧	共著	2025 年 2 月	青裳堂書店	鳥越文蔵、赤間亮、岩井眞實、佐藤恵里、東晴美、和田修	pp. 1~512
2.	田中覚	Digital Archiving of Cultural Properties Based on Advanced ICT and Utilization of the Archived Data	共著	2024 年 5 月	Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University, 1 (1)	Satoshi Tanaka	pp.1-68
3.	谷徹也	豊臣政権の統治構造	単著	2025 年 2 月	名古屋大学出版会		pp.1-624
4.	西浦敬信	ローリングシャッターカメラを用いたビジュアルマイクロホンによる音信号の獲得	共著	2025 年 2 月	日本音響学会誌	西浦 敬信, 立蔵 洋介	pp.168-176
5.	西浦敬信	光レーザーマイクロホンをを用いた遠方目的音の抽出と復元	単著	2024 年 8 月	光アライアンス、日刊工業出版	西浦 敬信	pp.6-9
6.	矢野桂司	文化資源のデジタル化・公開手法の開発：立命館アート・リサーチセンターの運用と公開	共著	2024 年 9 月	雄山閣	矢野桂司・赤間亮	pp.101~110
7.	矢野健一	〈書評〉斎藤成也『核 DNA 分析でたどる日本人の源流』河出文庫 河出書房新社 2023 年	単著	2025 年 3 月	環太平洋文明研究センター	矢野健一	
8.	矢野健一	辰馬考古資料館所蔵茨城県稲敷市福田貝塚出土の顔面付注口土器	共著	2025 年 3 月	国立歴史民俗博物館	矢野健一・青木政幸	
9.	李亮	Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems, 23rd Asia Simulation Conference, AsiaSim 2024, Kobe, Japan, September 17–20, 2024, Proceedings, Communications in Computer and Information Science (CCIS, volume 2170)	共著	2024 年 8 月	Springer Nature Singapore Pte Ltd.	Seiki Saito, Satoshi Tanaka, Liang Li, Satoshi Takatori, Yuichi Tamura (Eds.)	
10.	THAWONMAS Ruck	Artificial Intelligence Applications in Healthcare and Medicine, Artificial Intelligence and Multimodal Signal Processing in Human-Machine Interaction	共著	2025 年 1 月	Academic Press	Mustafa Can Gursesli, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Ruck Thawonmas	pp.331-342
11.	井上学	『京都の路線バス徹底解	単著	2024 年 10 月	オーム社		192

		剖』					
12.	大西秀紀	「大大阪」が育んだ藝能	共著	2024 年 5 月	清文堂出版	笠井純一	44
13.	前崎 信也	Japanese Art - Transcultural Perspectives	分担執筆	2024 年 12 月	Brill	国際共著	261-278
14.	前崎 信也	KINDRED SPIRITS: 100 Japanese Ceramics in Chinese Style. The Shen Zhai Collection	共著	2024 年 11 月	Arnoldsche	Fukunaga Ai, Rose Kerr, Maezaki Shinya, Clare Pollard, and Patrick K M Kwok	69-86
15.	前崎 信也	La plénitude du vide - Art du bambou au Japon	分担執筆	2024 年 7 月	Silvana Editoriale	Philippe Boudin, François Lachaud, Andreas Marks, 17Shinya Maezaki	235-245
16.	前崎 信也	『近代京都の美術工芸 II: 学理・応用・経営』	分担執筆	2024 年 7 月	学術書		523-548
17.	岩田秀行	役者絵の図像学 一錦絵八大伝を読む	共著	2024 年 7 月	文学通信	小池章太郎	304
18.	矢野 明子	Salon Culture in Japan: Making Art	単著	2024 年 7 月	British Museum Press		256
19.	加茂瑞穂	『近代京都の美術工芸 II 学理・応用・経営』染織意匠としての百合—明治期の図案資料を中心に	共著	2024 年 7 月	思文閣	並木誠士 青木美保子 上田 香 國賀由美子 高木博志 下出茉莉 武藤夕佳里 上田 文 松尾芳樹 田島達也 和田積希 多田羅多起子 山本真紗子 三宅拓也 原田喜子 木立雅朗 岡 達也 井戸美里 大平奈緒子 前崎信也 前川志織	pp608
20.	飯塚公藤	ランドスケープを実現する (はじめて学ぶ芸術の教科書 デザイン編)	共著	2024 年 6 月 25 日	京都芸術大学・東北芸術工科大学出版局 藝術学舎	稲田多喜夫・加藤友規・河合健・下村泰史・仲隆裕・長谷川一真	pp. 103–115
21.	井上学	『京都の路線バス徹底解剖』	単著	2024 年 10 月	オーム社		pp.192
22.	Alfred HAFT	Salon Culture in Japan: Making Art, 1750–1900	共著	2024 年 6 月	British Museum Press	矢野明子	pp.256
23.	Diego PELLECCIA	英語版能楽全書 (全 2 巻)	共著	2024 年 12 月	Brill	モニカ ベーテ, 山中玲子, 横山 太郎	pp.900
24.	Simon Kaner	Leiko Ikemura: Usagi in Wonderland	共著	2024 年 11 月	Verlag Kettler	Tania Moore 、 Vanessa Tothill 、 Liliana Janik, Midori Matsui, David Elliott	pp.308
25.	Simon Kaner	From Norwich to Nara: reflections on Silk Road connections	単著	2024 年 5 月	The Historian 第 161 号		pp.72
26.	Simon Kaner	ウエルビーイングのための考古学	単著	2024 年 12 月	『考古学研究』第 71 巻 第 3 号		Pp.96

(2). 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1.	稲葉 光行	『拡張する混合研究法』—第 9 回日本混合研究法学会年次大会報告	共著	2024 年 9 月	日本混合研究法学会	成田 慶一, 八田 太一	pp.292-298	無
2.	稲葉 光行	テクノロジーとの革新的な統合をデザインする : The SAGE Handbook of Mixed Methods Design Section 4 が問いかけるもの	単著	2024 年 4 月	混合研究法, 3 巻 1 号		pp.261-265	無
3.	大田 壮一郎	書評: 高島廉著『足利将軍家の政治秩序と寺院』	単著	2025 年 1 月	日本史研究研究, 749 号		pp.72-79	有
4.	木立 雅朗	審窯の焼成原理・民俗考古学・実験考古学から考える須恵器窯と瓦窯	単著	2024 年 5 月	真陽社		pp.233-258	無
5.	斎藤 進也	視覚障害者のビデオゲーム体験分析と支援機能開発: コンテンツ制作と質的研究を統合した探索的アプローチを通じて	単著	2025 年 3 月	The Journal of Replaying Japan、7 巻			有
6.	高野 明彦	デジタルアーカイブの 3 つの価値	単著	2024 年	デジタルアーカイブ学会誌		pp. 107-108	
7.	竹中悠美	写真と庭の親和性—シアン・デイヴィーの庭プロジェクトについて—	単著	2025 年 3 月	民族藝術学会誌 arts/、vol. 41		pp.154-157	無
8.	田中覚	Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief Type Cultural Heritage from a Single Old Photo	共著	2024 年 10 月	Proceedings of the 32nd ACM International Conference on Multimedia (ACM Digital Library)	Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar Ibnu Thufail, Brahmantara, Xiaojuan Ban, Satoshi Tanaka	pp.7724-7733	有
9.	田中覚	High-Visibility Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Clouds Based on Dual 3D Edge Extraction	共著	2024 年 10 月	MDPI、16 (19)	Yuri Yamada, Satoshi Takatori, Motoaki Adachi, Brahmantara, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Jiao Pan, Fadjar I. Thufail, Hiroshi Yamaguchi, Satoshi Tanaka	pp.3750-3765	有
10.	田中覚	Noise Transparentization Approach for High-Precision Visualization of 3D Scanned Point Clouds Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems (AsiaSim 2024)	共著	2024 年 9 月	CCIS (2170)	Qingyu Mao, Tomomasa Uchida, Kyoko Hasegawa, Satoshi Takatori, Liang Li, Satoshi Tanaka	pp.337-349	有
11.	田中覚	Missing Region Completion Network for Large-Scale Laser	共著	2024 年 7 月	Remote Sensing、16 (15)	Weite Li, Jiao Pan, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka	pp.2758	有

		Scanned Point Clouds: Application to Transparent Visualization of Cultural Heritage						
12.	田中覚	Edge highlighting with depth-dependent opacity gradation of laser-scanned point clouds improves the accuracy of perceived depth in transparent multi-view 3D visualizations	共著	2024 年 6 月	Journal of Visualization,	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, Satoshi Takatori, Satoshi Tanaka	pp.13	有
13.	谷 徹也	書評 牧原成征著『日本近世の秩序形成』	単著	2024 年 8 月	日本史研究、(744)	谷 徹也	pp.89-95	有
14.	谷 徹也	史料紹介 慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）蔵「小早川元総・吉川経言上坂記」	共著	2024 年 10 月	織豊期研究、(26)	谷徹也・木村俊哉・尾本将史・大胡友暉・藤井悠成・岡村隆洋	pp.77-92	有
15.	西浦敬信	DNN-based phase estimation for online speech enhancement	共著	2025 年 3 月	Acoustical Science and Technology	Binh Thien Nguyen, Yukoh Wakabayashi, Yuting Geng, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura	pp.186-190	有
16.	西浦敬信	Enhanced Virtual Sound Source Construction Based on Wave Field Synthesis Using Crossfade Processing with Electrodynamic and Parametric Loudspeaker Arrays Applied Sciences	共著	2024 年 12 月	Applied Sciences, 14(24)	Yuting Geng, Ayano Hirose, Mizuki Iwagami, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura		有
17.	西浦敬信	Comfortable Sound Design Based on Auditory Masking with Chord Progression and Melody Generation Corresponding to the Peak Frequencies of Dental Treatment Noises	共著	2024 年 11 月	Applied Sciences ,14 (22)	Masato Nakayama, Takuya Hayashi, Toru Takahashi, and Takanobu Nishiura		有
18.	西浦敬信	Sound-Field Reproduction Based on Virtual Early Reflections Using Parametric and Electrodynamic Loudspeakers	共著	2024 年 11 月	Journal of Signal Processing, 28 (6)	Yoto Ikezaki, Yuna Harada, Yuting Geng, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura	pp.267-275	有
19.	西浦敬信	Joint Deep Neural Network for Single-channel Speech Separation on Masking-based Training Targets	共著	2024 年 10 月	IEEE Access, 12	Peng Chen, Binh Thien Nguyen, Yuting Geng, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura	pp.152036-152044	有

20.	西浦敬信	Threshold-based Combination of Ideal Binary Mask and Ideal Ratio Mask for Single-channel Speech Separation	共著	2024 年 10 月	Information,15 (10)	Peng Chen, Binh Thien Nguyen, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura		有
21.	西浦敬信	Visualization of Demodulated Sound Based on Sequential Acoustic Ray Tracing with Self-demodulation in Parametric Array Loudspeakers	共著	2024 年 7 月	Applied Sciences, 14 (12)	Yuting Geng, Makoto Shimokata, Masato Nakayama, Takanobu Nishiura		有
22.	花岡和聖	Can heterolocalism explain the residential patterns of small populations of foreigners in Japan? The cases of Afghans, Laotians, Bolivians and Turks	単著	2024 年 7 月	Population, Space and Place			有
23.	前田亮	BERT を用いた役者評判記からの固有表現認識	共著	2024 年 12 月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集	Bohao Wu, 戸塚 史織, 前田 亮, 赤間 亮	pp.249-254	有
24.	前田亮	A BERT-Based Method of Named Entity Recognition for Ukiyoe Titles	共著	2024 年 12 月	Proceedings of The 26th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL 2024)	Bohao Wu and Akira Maeda	pp.3-17	有
25.	三須祐介	演じる身体、演じられる欲望—黄蜀芹『舞台女優』を中心に—	単著	2025 年 3 月	未名、(43)	三須祐介	pp.1-29	無
26.	三須祐介	同志文学の当事者性について	単著	2024 年 11 月	現代詩手帖 / 思潮社 [編]、67 (11)	三須祐介	PP.104-107	無
27.	三須祐介	討論2「現代中国語圏におけるジェンダー規範の変遷」	単著	2024 年 9 月	日本現代中国学会、現代中国、(98)	三須祐介	pp.77-78	無
28.	孟 林	Automatic Pruning Rate Adjustment for Dynamic Token Reduction in Vision Transformer	単著	2025 年 4 月	SPRINGER,Applied Intelligence, 55 (342)		pp.1-15	有
29.	孟 林	A Cosine Similarity-Based Token Subsampling Method for Vision Transformer in Cloud Computing	単著	2025 年 2 月	SPRINGER,Neural Computing and Applications, 37(4)	Qi LI, Hayata KANEKO, Lin MENG	pp.2627-2639	有
30.	孟 林	Fast reverse design of 4D-printed voxelized composite structures using deep learning and evolutionary algorithm	共著	2025 年 2 月	Wiley,Advanced Science, (2407825)	Mengtao Wang, Zaiyan Liu, Hidemitsu Furukawa, Zhuo Li, Yifei Ge, Yifan Xu, Zhe Qiu Yang Tian, Zhongku Wang, Ren Xu, and Lin Meng	pp.1-13	有
31.	孟 林	Adaptive spiking neuron with population coding for a residual spiking neural network	共著	2025 年 2 月	SPRINGER,Applied Intelligence, 55 (288)	Yongping Dan, Changhao Sun, Hengyi Li, Lin Meng	pp.1-24	有
32.	孟 林	Optimizing Loss Functions for	共著	2025 年 1 月	MDPI,Computers,14 (2)	Atsuki MATSUI Ryuto ISHIBASHI,	pp.1-16	有

		YOLO Models: Improving Object Detection in Agricultural Datasets				and Lin MENG		
33.	孟 林	Dataset purification-driven lightweight deep learning model construction for Empty-dish Recycling Robot	共著	2025 年 1 月	IEEE Transactions on Emerging Topics in Computational Intelligence	Yifei GE, Zhuo LI, Xuebin YUE, Hengyi LI, Lin MENG		有
34.	孟 林	Enhancing the Efficiency of 4D Printing Design through Time-Series Prediction by Dense-LSTM Crossed Network	共著	2025 年 1 月	Inderscience, International Journal of Advanced Mechatronic Systems	Yifan XU, Mengtao WANG, Hidemitsu FURUKAWA, Zhongkui WANG, and Lin MENG		有
35.	孟 林	3D Industrial Anomaly Detection via Dual Reconstruction Network	共著	2024 年 7 月	SPRINGER,Applied Intelligence	Zhuo Li, Yifei Ge, Xin Wang, and Lin MENG	pp.1-15	
36.	孟 林	A Comprehensive Analysis of Deployment Optimization Methods for CNN-Based Applications on Edge Devices	共著	2024 年 7 月	Elektrotehniški vestnik, 91 (3)	Qi Li, Zhenling Su, Lin Meng	pp.95-107	有
37.	孟 林	A Generic Deep Learning Architecture Optimization Method for Edge Device based on Start-up Latency Reduction	共著	2024 年 6 月	Journal of Real-Time Image Processing, 21 (116)	Qi LI, Hengyi LI, and Lin MENG	pp.1-12	有
38.	孟 林	MCAD: Multi-classification anomaly detection with relational knowledge distillation	共著	2024 年 5 月	SPRINGER,Neural Computing and Applications	Zhuo LI, Yifei GE, Xuebin YUE, and Lin MENG		有
39.	孟 林	Energy-Efficient Online Service Migration in Edge Networks	共著	2024 年 4 月	IEEE Internet of Things Journal	jiangwei Li , Deng Zhao , Zhensheng Shi , Lin Meng, Walid Gaaloul , Zhangbing Zhou		有
40.	矢野健一	押型文土器の起源と変遷	単著	2025 年 3 月	関西縄文文化研究会, 関西縄文文化研究会第 19 回研究集会発表要旨集, (9)	矢野健一		無
41.	山内啓之	Evaluation of GIScience Exercise Using Online Educational Materials for Japanese University Students	国際共著	2024 年 5 月	Informa UK Limited, The Professional Geographer,76(4)	Hiroyuki Yamauchi,Takashi Oguchi,Kotaro Iizuka,Yuichi S. Hayakawa,Toshikazu Seto	pp.490-503	有
42.	李亮	Human Responses to the Relationships between Object Shapes and	共著	2025 年 1 月	International Journal of Affective Engineering,24(1)	Akira Asano, Hana Morihiro, Liang Li, Chie Muraki Asano, Markus Grüner	pp.29-39	有

		Movements in the Context of Visual Attention and S-R Compatibility						
43.	李亮	High-Visibility Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Clouds Based on Dual 3D Edge Extraction	共著	2024 年 10 月	MDPI, Remote Sensing,16(19)	Yuri Yamada, Satoshi Takatori, Motoaki Adachi, Brahmantara, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Jian Pan, Fadjar I. Thufail, Hiroshi Yamaguchi, and Satoshi Tanaka	pp.3750	有
44.	李亮	Edge highlighting with depth-dependent opacity gradation of laser-scanned point clouds improves the accuracy of perceived depth in transparent multi-view 3D visualizations	共著	2024 年 7 月	Springer Nature, Journal of Visualization,27	Daimon Aoi, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Yuichi Sakano, Naohisa Sakamoto, Satoshi Takatori, and Satoshi Tanaka	pp.1103-1115	有
45.	李亮	Missing Region Completion Network for Large-Scale Laser-Scanned Point Clouds: Application to Transparent Visualization of Cultural Heritage	共著	2024 年 7 月	MDPI, Remote Sensing, 16(15)	Weite Li, Jiao Pan, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka	pp.2758	有
46.	THAWONMAS Ruck	Angry Birds Level Generation to Achieve Diverse Results Having Controllable Similarity to an Example	共著	2025 年 3 月	Journal of Information Processing,33	Mury F. Dewantoro, Febri Abdullah, Ruck Thawonmas	pp.210-218	有
47.	THAWONMAS Ruck	BenchING: A Benchmark for Evaluating Large Language Models in Following Structured Output Format Instruction in Text-Based Narrative Game Tasks	共著	2025 年 1 月	IEEE Transactions on Games	Pittawat Taveekitworachai, Mury F Dewantoro, Yi Xia, Pratch Suntichaikul, Ruck Thawonmas	pp.1-11	有
48.	THAWONMAS Ruck	Ice-kun: A Virtual Pet on a Low Energy Display Controlled by a Large Language Model	共著	2025 年 1 月	Proc. of the 2025 IEEE International Conference on Consumer Electronics (ICCE 2025)	Febri Abdullah, Augustin Roussely, Benjamin Dayres, Tristan Riehs, Xiaoxu Li, Rintaro Makino, Kohei Matsumura, Haruo Noma, Hideyuki Takada, Ruck Thawonmas	pp. 1-6	有
49.	THAWONMAS Ruck	Personalized Game Difficulty with Large Language Models: a Preliminary Study	共著	2025 年 1 月	Proc. of the 2025 IEEE International Conference on Consumer Electronics (ICCE 2025)	Xiaoxu Li, Yi Xia, Ruck Thawonmas	pp. 1-6	有
50.	THAWONMAS Ruck	Don't Do That! Reverse Role Prompting Helps	共著	2024 年 12 月	Proc. of the 2024 International Conference on Interactive Digital	Siyuan Chen, Pittawat Taveekitworachai, Yi	pp.101-114	有

		Large Language Models Stay in Personality Traits			Storytelling (ICIDS 2024), Lecture Notes in Computer Science, J.T. Murray and M.C. Reyes (eds), 1546715467	Xia, Xiaoxu Li, Mustafa Can Gursesli, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Ruck Thawonmas		
51.	THAWONMAS Ruck	The First ChatGPT4PCG Competition	共著	2024 年 12 月	IEEE Transactions on Games, 16(4)	Febri Abdullah, Pittawat Taveekitworachai, Mury F Dewantoro, Ruck Thawonmas, Julian Togelius, Jochen Renz	pp.971-980	有
52.	THAWONMAS Ruck	Enhancing Player Experience in a First-Person Shooter with Dynamic Audio Cue Adjustment Based on Gaussian Progress Regression	共著	2024 年 11 月	Applied Sciences, 14(23)	Xiaoxu Li, Yi Xia, Mustafa Can Gursesli, Xiao You, Siyuan Chen, Ruck Thawonmas	pp. 1-20	有
53.	THAWONMAS Ruck	Null-Shot Prompting: Rethinking Prompting Large Language Models With Hallucination	共著	2024 年 11 月	Proc. of the 2024 Conference on Empirical Methods in Natural Language Processing (EMNLP 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, and Ruck Thawonmas	pp. 13321-13361	有
54.	THAWONMAS Ruck	Temporal Collage Prompting: A Cost-Effective Simulator-Based Driving Accident Video Recognition With GPT-4o	共著	2024 年 11 月	Proc. of the 8th International Conference on Information Technology (InCIT 2024)	Pratch Suntichaikul, Pittawat Taveekitworachai, Chakarida Nukoolkit, Ruck Thawonmas	pp.708-713	有
55.	THAWONMAS Ruck	LLMs in Eduverse: LLM-Integrated English Educational Game in Metaverse	共著	2024 年 10 月	Prof. of the IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	Kantinan Plupattanakit, Pratch Suntichaikul, Pittawat Taveekitworachai, Ruck Thawonmas, Jeremy White, Kingkarn Sookhanaphibarn, Worawat Choensawat	pp.257-258	有
56.	THAWONMAS Ruck	Assessing inherent biases following prompt compression of large language models for game story generation	共著	2024 年 8 月	Proc. of the 2024 IEEE Conference on Games (CoG 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Kantinan Plupattanakit, Ruck Thawonmas	pp.1-4	有
57.	THAWONMAS Ruck	ChatGPT4PCG 2 Competition: Prompt Engineering for Science Birds Level Generation	共著	2024 年 8 月	Proc. of the 2024 IEEE Conference on Games (CoG 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mury F Dewantoro, Yi Xia, Pratch Suntichaikul, Ruck Thawonmas, Julian Togelius, Jochen Renz	pp.1-8	有
58.	THAWONMAS Ruck	Driving assistant using generative AI pre-generated messages in simulator-based driving assessment:	共著	2024 年 8 月	Heliyon, 10(16)	Gunt Chanmas, Pittawat Taveekitworachai, Xiao You, Ruck Thawonmas, Chakarida Nukoolkit,	pp.1-12	有

		A step towards low-cost simulator-based driving assessment				Piyapat Dajpratham		
59.	THAWONMAS Ruck	Towards LLM4PCG: A Preliminary Evaluation of Open-Weight Large Language Models Beyond ChatGPT4PCG	共著	2024 年 8 月	Proc. of the 2024 IEEE Conference on Games (CoG 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Yi Xia, Pratch Suntichaikul, Ruck Thawonmas	pp.1-4	有
60.	THAWONMAS Ruck	Understanding Game Performance: A Study of Eye Blinking and Pupil Metrics in Matching Pairs Game	共著	2024 年 8 月	Proc. of the 2024 IEEE Conference on Games (CoG 2024)	Mustafa Can Gursesli, Federico Cala, Pietro Tarchi, Lorenzo Frassinetti, Andrea Guazzini, Mirko Duradoni, Ruck Thawonmas, Antonio Lanata	pp.1-6	有
61.	THAWONMAS Ruck	A systematic review of major evaluation metrics for simulator-based automatic assessment of driving after stroke	共著	2024 年 6 月	Heliyon, 10(12)	Pittawat Taveekitworachai, Gunt Chanmas, Pujana Paliyawan, Ramita Thawonmas, Chakarida Nukoolkit, Piyapat Dajpratham, Ruck Thawonmas	pp.1-18	有
62.	THAWONMAS Ruck	Speed Up! Cost-Effective Large Language Model for ADAS Via Knowledge Distillation	共著	2024 年 6 月	Proc. of the 2024 IEEE Intelligent Vehicles Symposium (IV 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Pratch Suntichaikul, Chakarida Nukoolkit, Ruck Thawonmas	pp.1933-1938	有
63.	THAWONMAS Ruck	Prompt evolution through examples for large language models-a case study in game comment toxicity classification	共著	2024 年 5 月	Proc. of the 2024 IEEE International Workshop on Metrology for Industry 4.0 & IoT (MetroInd4.0 & IoT 2024)	Pittawat Taveekitworachai, Febri Abdullah, Mustafa Can Gursesli, Antonio Lanata, Andrea Guazzini, Ruck Thawonmas	pp.22-27	有
64.	SEIFMAN Travis	Ugui Royal Portraits not seen since Battle of Okinawa, Recovered and Returned	單著	2024 年 8 月	Asia-Pacific Journal: Japan Focus	Travis Seifman		無
65.	SEIFMAN Travis	A Real Thing that Exists Only in Shuri: Ryukyuan Arts Traditions & Memory at Shurijo Castle Park	單著	2024 年 5 月	Transposed Memory: Visual Sites of National Recollection in 20th and 21st Century East Asia	Travis Seifman		無
66.	Weite Li	Missing Region Completion Network for Large-Scale Laser-Scanned Point Clouds	單著	2024 年 7 月	Transparent Visualization of Cultural Heritage	Jiao Pan, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka	24	
67.	Pan, J	High-Visibility Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Clouds Based on Dual 3D Edge	共著	2024 年 10 月	MDPI Remote Sensing Volume 16, Issue 19	Yuri Yamada Satoshi Takatori Motoaki Adachi Brahmantara Kyoko Hasegawa Liang Li	22	

		Extraction				Fadjar I. Thufail Hiroshi Yamaguchi Satoshi Tanaka		
68.	飯塚公藤	「日本における内陸水運」	単著	2024 年 11 月	地図情報センター		44 巻 3 号 pp.26-29	無
69.	瀬戸寿一	「活動への参加状況にみるシビックテックコミュニティの変容—Code for Saga を対象として—」	共著	2024 年 4 月	実践政策学エディトリアルボード・『実践政策学 (Policy and Practice Studies)』	安藤朋恵・太田一帆・伊藤香織・高柳誠也・瀬戸寿一	第 10 巻 第 1 号 pp.77-84	有
70.	瀬戸寿一	「地理空間情報を介した市民参加と協働—デジタル・シティズンシップに向けて」	単著	2024 年 5 月	日本都市計画学会・『都市計画 (City Planning Review)』		第 73 巻 第 3 号 (通巻 368 号) pp.62-65	無
71.	Bergmann, Annegret	Zeitgeist Und Tee-Ästhetik in der Momoyama-Zeit am Beispiel koreanischer Teeschalen	単著	2024 年 6 月	OAG Notizen, no. 06	無	10-33	無
72.	Bergmann, Annegret	Ungewisse Zukunft: Schließung des Nationaltheaters Tokio ohne Klarheit für ein Neubauprojekt	単著	2024 年 6 月	Bühnentechnische Rundschau,	無	46-50	無
73.	Bergmann, Annegret	Art on Stage—Shift in Kabuki Costumes from Craft to Art—	単著	2024 年 8 月	ART RESEARCH, 25	無	3-11	有
74.	竹内千代子	「芭蕉百五十回忌集『花供養』考」	共著	2024 年 6 月	「俳文学研究」、京都俳文学研究会	青木亮人、小林節子、岸本孔、松本悠子		無
75.	木村 文則	Improvement of Examining method with Construal Level Theory Perspective for Reward-Based Crowdfunding Performance	単著	2024 年 8 月	IEEE Conference Proceedings	Zhou Lei Doong Hersen	pp. 568–571	
76.	高須 奈都子	博士論文「帯結びの補助具の発生と進化—「帯留」から帯締・帯揚・帯枕へ—」	単著	2024 年 12 月	博士論文「帯結びの補助具の発生と進化—「帯留」から帯締・帯揚・帯枕へ—」		約 180 ページ (要約含む)	
77.	佐古愛己	「東坊城家蔵書目録 (補遺) と東坊城任長」	単著	2024 年 3 月	佛教大学『歴史学部論集』		pp. 77-90	
78.	高橋千晶	「「居住」と「移動」の家族写真：長江家旧蔵写真資料に見る「公」と「私」の記録」	共著	2024 年 6 月	『大正イマジュリイ』第 18/19 号	田島 奈都子	p.102	
79.	石上阿希	《訓蒙図彙》諸版再考」		2024 年 10 月	『国際比較文学』7-3 号		pp.85-104	
80.	小倉拓郎	「カラマツ植栽木の初期成長に及ぼす粘土化したテフラの透水性および硬度の影響」	共著	2024 年 12 月	『日本森林学会誌』第 106 巻第 8 号	蓮井聡・阿部友幸	pp. 251-256	有

81.	小島一成	Multi-site Linked MOCAP Streaming System and Applications	単著	2024 年 4 月	Models and Methods for Systems Engineering (Studies in Big Data, Vol. 165)	無	pp. 325- 334	有
82.	佐藤弘隆	「大正期における東京漫画会の東海道自動車旅行:『東海道五十三次漫画絵巻』の制作をめぐる」	単著	2024 年 11 月	『歴史地理学』第 66 巻第 4 号	無	pp. 16-38	有
83.	佐藤弘隆	明治時代の京都祇園祭における弓矢町の武者行列の再編	単著	2024 年 1 月	『史林』第 107 巻第 1 号	無	pp. 139- 172	有
84.	菅沼明正	制度としての文化財鑑賞—政策・観光・メディアの歴史社会学—	単著	2025 年 2 月	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科	無	pp.496	有
85.	蟬塚咲衣	「歴史的風致として選定された小樽の祭礼文化—水天宮多賀神社例大祭と『歴史まちづくり法』—」	単著	2024 年 12 月	『年報新人文』第 21 号	無	Pp.232-251	有
86.	常木佳奈	「出版学における木版口絵研究のためのデジタルアーカイブデザイン」	単著	2025 年 3 月	『出版研究』第 55 号	無	Pp49-60	有
87.	永塚憲治	新出の艶本『風流色図法師』巻下の内景図について	単著	2024 年 6 月	『医譚』第 119 号	無	pp.11217- 11230	有
88.	永塚憲治	「关于新发现的房中术书《婚姻秘术抄》与艳本《艳颜色钵之木》—卷子本《医心方》“房内”的所在—」	単著	2024 年 6 月	「写本文献与東亞伝統医学」學術検討会論文集	無	pp. 71-91	有
89.	Jiao PAN(潘皎)	Missing Region Completion Network for Large-Scale Laser-	共著	2024 年 7 月	Remote Sensing (MDPI)	Weite Li, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Satoshi Tanaka	pp.22	有

		Scanned Point Clouds: Application to Transparent Visualization of Cultural Heritage						
90.	Jiao PAN(潘蛟)	High-Visibility Edge-Highlighting Visualization of 3D Scanned Point Clouds Based on Dual 3D Edge Extraction	共著	2024 年 10 月	Remote Sensing (MDPI)	Motoaki Adachi, Kyoko Hasegawa, Brahmantara, Fadjar I. Thufail, Hiroshi Yamaguchi	pp.24	有
91.	Alessandro Bianchi	Special issue “Celebrating the Peter Kornicki Collection and Donation.”	単著	2024 年 10 月	Bodleian Library Record Journal. Volume 35, Numbers 1–2	無	109-184	有
92.	Alessandro Bianchi	Books, Blocks, and Beyond: Print Culture in Japanese Art		2024 年 10 月	オックスフォード大学ボドリアン図書館 (Bodleian Libraries)			
93.	Alessandro Bianchi	A legendary collection of Japanese illustrated books: the lost library of Eugène Gillet		2024 年 9 月	ケンブリッジ大学図書館 (Cambridge University Library)			
94.	東野陸	日本古典文学の言葉と思想 海外における和刻本漢籍受容の一考察	単著	2024 年 5 月	中西健治先生喜寿記念論集編集委員会、武蔵野書院、海外における和刻本漢籍受容の一考察	無	pp.551-566	無
95.	杉浦和子	「前近代日本對異域與他者的認知—以江戸時期”萬國人物圖”爲中心、	単著	2024 年 10 月	国家航海, 第 33 輯	無	pp.24-51	有
96.	土田勝	“Gene correction and overexpression of TNNI3 improve impaired relaxation in engineered heart tissue model of pediatric restrictive cardiomyopathy”	共著	2024 年 6 月	Development Growth and Differentiation	M. Hasegawa, K. Miki, T. Kawamura, I. Takei-Sasozaki, Y. Higashiyama, M.Tsuchida, K. Kashino, M. Taira, E. Ito, M. Takeda, H. Ishida, S. Higo, Y. Sakata, and S. Miyagawa	119-132	有

(3). 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1.	稲葉 光行	生成 AI と研究の実践	2024 年 11 月	第 10 回日本混合研究法学会年次大会、オンライン開催	大河原知嘉子, 八田太一, 笹生智子, 畠慎一郎, 岩本圭介
2.	因幡 光行	Proposals for Nurturing Activities to Foster Community Cohesion and Health Promotion from a Children's	2025 年 2 月	University-Community Links 2025 Hybrid International Conference California, USA	Mika Nishiyama, Miyu Fujiwara, Risa Akai, Honoka Shintaku

		Perspective: Latest Updates from the Yawata Children's Conference			
3.	大田壮一郎	コメンター中世後期研究の立場からー	2024 年 6 月	JSPS 科研費「中近世移行期の門跡に関する史料学的研究」成果報告シンポジウム「中・近世門跡論の可能性を探る」、東京都	
4.	大田壮一郎	立命館大学文学部所蔵中世神道関係文書のデジタル化II	2025 年 2 月	2024 年度アート・リサーチセンター成果発表会、オンライン開催	
5.	河角 直美	戦後沖縄における高台型〈歓楽街〉の店舗構成ー1969 年事業所基本調査の分析からー	2024 年 11 月	2024 年人文地理学会大会、近畿大学	宮原佑成, 河角直美, 前田一馬, 加藤政洋
6.	河角 直美	京の台所《錦市場》の店舗変遷ー方法と基礎資料に関する検討ー	2024 年 5 月	2024 年度歴史地理学会第 67 回大会、立命館大学	河角直美, 加藤政洋, 宮原佑成, 稲田七海, 前田一馬
7.	木立 雅朗	近世・近現代の窯跡の保存と活用ー京焼登り窯の 3D 計測・近現代文書・記憶ー	2014 年 9 月	令和 6 年度兵庫県史跡整備協議会研修会	
8.	小寺 未知留	L・マイヤー『音楽における情動と意味』での G・H・ミードへの参照ー音楽意味論と「社会心理学」の接点として	2024 年 10 月	第 75 回美学会全国大会 大阪府	
9.	斎藤 進也	ゲーム AI を活用した仮想展示エンターテインメントの構築	2025 年 2 月	日本デジタルゲーム学会第 15 回年次大会 愛媛県	長谷川綾音, 福田一史, 斎藤進也
10.	竹中悠美	浮世としての家庭空間ー勝川春章《婦女風俗十二ヶ月図》の構図をめぐる試論	2024 年 5 月	第 132 回国際 ARC セミナー、日本、オンライン開催	
11.	田中 覚	色と不透明度のグラデーションに基づく 3 次元点群の特徴強調可視化	2025 年 3 月	日本応用数理学会第 21 回研究部会連合発表会、岡山県	山田 祐里, 田中 覚
12.	田中 覚	3 次元計測点群を活用した大規模有形文化財の高精細透視可視化と特徴強調可視化	2025 年 2 月	人間文化研究機構 DH 国際シンポジウム「イマーシブ・インタラクティブ技術と文化鑑賞体験、東京都	田中覚
13.	田中 覚	大規模 3 次元計測点群データを活用した有形文化財の高精細透視可視化	2024 年 11 月	第 36 回・情報伝送と信号処理ワークショップ (CSWS)、大阪府	田中覚
14.	田中 覚	A point cloud-based VR visualization system for the Western Pagoda of Taimadera Temple enhanced with feature-integrated navigation	2024 年 9 月	The 43th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024), Kobe, Hyogo	Takahito Koshiba, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi Tanaka,
15.	田中 覚	Enhanced Transparency Visualization of 3D Point Clouds Based on Color and Opacity Gradations	2024 年 9 月	The 43th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024), Kobe, Hyogo	Yuri Yamada, Liang Li, Satoshi Takatori, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka
16.	田中 覚	Noise Transparentization Approach for High-precision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	2024 年 9 月	Asia Simulation Conference 2025, Kobe, Hyogo	Qingyu Mao, Tomomasa Uchida, Kyoko Hasegawa, Satoshi Takatori, Liang Li, and Satoshi Tanaka
17.	田中 覚	VR Comparative Visualization Learning Support System for Japanese Traditional Dance Beginners Using Skilled Practitioner Motion Data	2024 年 9 月	The 43th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024), Kobe, Hyogo	Daiki Yokoyama, Liang Li, Satoshi Takatori, Kyoko Hasegawa, Nao Shikanai and Satoshi Tanaka
18.	田中 覚	VR System for 3D-Scanned Japanese Armor	2024 年 9 月	The 43th JSST Annual International Conference on	Taku Hirakawa, Liang Li, Kyoko Hasegawa, Akihiro Tsukamoto and

		Point Clouds with Transparent Feature-Highlighting Visualization		Simulation Technology (JSST2024)	Satoshi Tanaka
19.	田中 覚	3次元計測点群の半透明可視化における主成分分析に基づく法線ベクトルの陰影効果	2024 年 7 月	第 52 回可視化情報シンポジウム、那覇市	野尻捷月, 鷹取慧, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
20.	田中 覚	熟練者モーションデータを用いた日本舞踊初学者のための VR 比較可視化学習支援システム	2024 年 7 月	第 52 回可視化情報シンポジウム、那覇市	横山大貴, 李亮, 鷹取慧, 長谷川恭子, 鹿内菜徳, 田中覚
21.	田中 覚	色と不透明度グラデーションに基づく 3 次元点群の特徴強調半透明可視化	2024 年 7 月	第 52 回可視化情報シンポジウム、那覇市	山田祐里, 鷹取慧, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚
22.	田中 覚	VisAssets を用いた潮流シミュレーションの時系列 VR 可視化	2024 年 6 月	第 52 回可視化情報シンポジウム、那覇市	宮地英生, 河原隼斗, 川原慎太郎, 長谷川恭子, Liang Li, 田中 覚
23.	田中 覚	Vortex Visualization for Large-Scale Ocean Simulation based on Eigenvorticity and Opacity Gradation	2024 年 4 月	The 1st Japan Visualization Symposium (JapanVis 2024), Tokyo,	Satoru Arita, Soya Kamisaka, Satoshi Nakada, Shintaro Kawahara, Hideo Miyachi, Kyoko Hasegawa, Satoshi Takatori, Liang Li and Satoshi Tanaka
24.	西浦 敬信	Comfortable Sound Design Based on a Dynamic Programming Matching Method for Aligning Chord Progression Patterns to the Peak Frequency Sequences of Dental Treatment Sounds	2025 年 3 月	NCSP 2025, マレーシア	Takuya Hayashi, Toru Takahashi, Takanobu Nishiura and Masato Nakayama
25.	西浦 敬信	光レーザマイクロホンを用いたマルチチャネルフィードフォワード ANC システムの耐残響性の評価	2025 年 3 月	電子情報通信学会応用音響研究会、那覇市	水谷 真紘, 岩居 健太, 西浦 敬信, 添田 喜治
26.	西浦 敬信	低周波包絡を用いたハイパーソニック・プリパーチャルリード信号による音像変位	2025 年 3 月	電子情報通信学会応用音響研究会、那覇市	今中 峻太, 耿 毓庭, 中山 雅人, 西浦 敬信
27.	西浦 敬信	Phase-aware Audio Super-Resolution using a Two-Stage DNN model	2025 年 2 月	NCSP 2025、オンライン開催	Yanqiao Yan, Yuting Geng, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura
28.	西浦 敬信	Singing Vocal Extraction from Music Signal Based on U-Net Using Random-shift-mixed-data Augmentation	2025 年 2 月	NCSP 2025、オンライン開催	Guanda Mou, Yuting Geng, Kenta Iwai and Takanobu Nishiura
29.	西浦 敬信	Augmented sound-image perception using pre-virtual-leading ultrasounds based on precedence effect	2024 年 12 月	APSIPAASC 2024、マカオ	Ryota Imanaka, Yuting Geng, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura
30.	西浦 敬信	Deep-Learning-Based Speech Enhancement with Rough-Focused Optical Laser Microphone by Reconstructing Complex Spectrum	2024 年 12 月	APSIPAASC 2024、マカオ	Yuki Nakano, Yuting Geng, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura
31.	西浦 敬信	Performance Evaluation of Acoustic Echo and Noise Canceller with Variable-Step-Size	2024 年 12 月	APSIPAASC 2024、マカオ	Kenta Iwai, Takanobu Nishiura

		Shared-Error NLMS Algorithm under Double-Talk Conditions			
32.	西浦 敬信	Sound Quality Improvement in Visual Microphone by Emphasizing Focused Area Based on Focal Rate	2024 年 12 月	APSIPAASC 2024、オンライン開催	Hayata Nakano, Yuting Geng, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura
33.	西浦 敬信	Virtual multi-boosted amplitude modulation toward high-pressure audible sound with parametric array loudspeakers	2024 年 12 月	APSIPAASC 2024、マカオ	Yoto Ikezaki, Yuting Geng, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura
34.	西浦 敬信	繭糸強度の高いカイコ品種「響明」を用いて作製した和楽器用絹絨の特徴	2024 年 11 月	第 71 回日本シルク学会研究発表会	伊賀 正年, 飯塚 哲也, 橋本 英宗, 西浦 敬信
35.	西浦 敬信	Construction Method of Acoustic Metadata on an Object-Based Audio Utilizing Coordinate Estimation of a Moving Sound Source	2024 年 10 月	IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics, 北九州	Subaru Kato, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura, and Yoshiharu Soeta
36.	西浦 敬信	Reduction of Noise in Reverberant Environments of Multichannel Feedforward Active Noise Control System With Optical Laser Microphone	2024 年 10 月	IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics, 北九州	Maoto Mizutani, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura, and Yoshiharu Soeta
37.	西浦 敬信	Speech-Leakage Reduction for Pin-Spot Audio Based on Multiple Sideband Waves Using Comb Filters	2024 年 10 月	IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics, 北九州	Mizuki Iwagami, Yuting Geng, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura
38.	西浦 敬信	Shared-error NLMS アルゴリズムによる音響エコー雑音キャンセラの可変ステップサイズ調整法とそのダブルトーク環境下における性能評価	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	岩居 健太, 西浦 敬信
39.	西浦 敬信	ビジュアルマイクロホンにおける合焦領域の選別による音質改善	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	中野 隼汰, 耿 毓庭, 岩居 健太, 西浦 敬信
40.	西浦 敬信	メロディとコード進行の自動生成を用いた聴覚マスキングに基づく歯科治療音の快音化	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	林 拓哉, 高橋 徹, 西浦 敬信, 中山 雅人
41.	西浦 敬信	沿線観測点におけるパンタグラフ空力音の音源寄与度推定手法	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	山崎 展博, 光用 剛, 中山 雅人, 西浦 敬信, 若林 雄介
42.	西浦 敬信	極小領域オーディオスポットにおける側帯波分割に基づく音声漏洩の評価	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	岩上 瑞希, 耿 毓庭, 中山 雅人, 西浦 敬信
43.	西浦 敬信	光レーザマイクロホンを用いたマルチチャネルフィールドフォワードアクティブノイズコントロールシステムの実環境下における騒音低減性能の実機評価	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	水谷 真紘, 岩居 健太, 西浦 敬信, 添田 喜治
44.	西浦 敬信	光レーザマイクロホンを用いたラフビント収録音	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	中野 裕貴, 耿 毓庭, 岩居 健太, 西浦 敬信

		声の深層複素畳み込み再帰型ネットワークに基づく音声強調の評価			
45.	西浦 敬信	長時間超音波プリバーチャルリード信号による音像定位強調	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	今中 峻太, 耿 毓庭, 中山 雅人, 西浦 敬信
46.	西浦 敬信	風洞試験における自由せん断層内の流速分布に基づく音波の移流量推定	2024 年 9 月	日本音響学会 2024 年秋季研究発表会、大阪	山崎 展博, 井上 達哉, 中山 雅人, 西浦 敬信
47.	西浦 敬信	Analysis of nonminimum phase components of noise control filters in active noise control	2024 年 8 月	INTER-NOISE 2024、オンライン開催	Maoto Mizutani, Kenta Iwai, Takanobu Nishiura, and Yoshiharu Soeta
48.	西浦 敬信	Comfortable sound design based on auditory masking with chord progression and melody generations using automatic composition	2024 年 8 月	INTER-NOISE 2024、オンライン開催	Takuya Hayashi, Daisuke Yamaguchi, Toru Takahashi, Takanobu Nishiura, and Masato Nakayama
49.	西浦 敬信	Deep-learning-based speech enhancement under rough-focus condition in optical laser microphone,	2024 年 8 月	INTER-NOISE 2024、ナント、フランス	Yuki Nakano, Kazumichi Miyazato, Yuting Geng, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura
50.	西浦 敬信	Virtual sound source construction based on adaptive crossfade processing with electrodynamic and parametric loudspeaker arrays	2024 年 8 月	INTER-NOISE 2024、ナント、フランス	Mizuki Iwagami, Ayano Hirose, Yuting Geng, Masato Nakayama, and Takanobu Nishiura
51.	西浦 敬信	ピンスポットオーディオ～音のスポット再生・集音を目指して～	2024 年 6 月	精密工学会 2024 年度関西地方定期学術講演会、大阪	西浦 敬信
52.	西浦 敬信	INTER-FREQUENCY PHASE DIFFERENCE FOR PHASE RECONSTRUCTION USING DEEP NEURAL NETWORKS AND MAXIMUM LIKELIHOOD	2024 年 4 月	ICASSP 2024、ソウル	Nguyen Binh Thien, Yukoh Wakabayashi, Kenta Iwai, and Takanobu Nishiura
53.	前田 亮	浮世絵データベースにおけるタイトルのマルチモーダル固有表現認識	2025 年 3 月	第 17 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2025)、福岡県	WU Bohao, 戸塚 史織, 前田 亮, 赤間 亮
54.	前田 亮	Detecting Sarcasm Comments in Chinese SNS Through Emoji and Language Model Integration	2025 年 2 月	第 17 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2025)、福岡県	劉 子沛, 前田 亮
55.	三須 祐介	《Drive My Car》: 將我們載去何方?	2024 年 11 月	白先勇清華文學講座、台湾	三須祐介
56.	三須 祐介	我的台灣文學翻譯	2024 年 11 月	國立清華大學中文系・王默人周安儀文學講座、台湾	三須祐介
57.	孟 林	An efficient neural architecture search based on PCDARTS	2024 年 12 月	International Conference on Identification, Information and Knowledge in the Internet of Things (IIKI2024), Shiga	Zhuo Li; Hengyi Li; Lin Meng
58.	孟 林	Distributed Learning for Gait-based Human Recognition	2024 年 12 月	International Conference on Identification, Information and Knowledge in the Internet of Things (IIKI2024), Shiga	Yingrui Geng; Menghao Yuan; Xiaoxu Wen; Yan Wang; Lin Meng
59.	孟 林	Enhancing Transmission Efficiency in Vision Transformer Edge	2024 年 12 月	International Conference on Identification, Information and Knowledge in the Internet of	Qi Li, Lin Meng

		Computing via Token Clustering		Things (IIKI2024), Shiga	
60.	孟 林	YOLO Loss Optimization for Detecting Fruit Defects	2024 年 12 月	International Conference on Identification, Information and Knowledge in the Internet of Things (IIKI2024), Shiga	Atsuki Matsui, Ryoto Ishibashi, and Lin Meng
61.	孟 林	Digital Twins and AI Management: Optimizing Biogas-Photovoltaic Systems for off-grid area	2024 年 11 月	In proceedings of the 2024 International Conference on Advanced Mechatronic Systems (ICAMechS 2024), Shiga	Runqian ZHANG, Yifei GE, Lin MENG, Zenghui WANG, Liston MATINDIFE, Eric MALUTA, Nekhubvi VHUTSHILO, and Langa B. MOYO
62.	孟 林	IAD-CLIP: Vision-Language Models for Zero-Shot Industrial Anomaly Detection	2024 年 11 月	In proceedings of the 2024 International Conference on Advanced Mechatronic Systems (ICAMechS 2024) , Shiga	Zhuo LI, Yifei GE, Qi LI, and Lin MENG
63.	孟 林	Recurrent Neural Network-based Modeling Approach for 4D Printing Design	2024 年 11 月	In proceedings of the 2024 International Conference on Advanced Mechatronic Systems (ICAMechS 2024) , Shiga	Yifan XU, Mengtao WANG, Zhongkui WANG, and Lin MENG
64.	孟 林	ViViT fall detection and action recognition	2024 年 11 月	In proceedings of the 2024 International Conference on Advanced Mechatronic Systems (ICAMechS 2024) , Shiga	Takashi HIGASHI, Ryuto ISHIBASHI, and Lin MENG
65.	孟 林	Evaluation of Missing Image Restoration with a Binary Character Image Diffusion Model	2024 年 11 月	In proceedings of the 2024 International Conference on Advanced Mechatronic Systems (ICAMechS 2024) , Shiga	Yuya YOSHIZU, Hayata KANEKO, Ryuto ISHIBASHI, and Lin MENG
66.	孟 林	GPNN:Grouped Point-NN for more efficient point cloud classification	2024 年 11 月	the 2024 International Conference on Cyber-physical Social Intelligence (ICCSI 2024), カタール	Yuga Ono, Ryuto Ishibashi, Lin Meng
67.	孟 林	IoT-based Leftover Food Segmentation System for Healthcare	2024 年 11 月	the 2024 International Conference on Cyber-physical Social Intelligence (ICCSI 2024) , カタール	Shunsuke Hayashi, Ryuto Ishibashi, Lin Meng, Mingcong Deng
68.	孟 林	Two-Stage Stains Reduction with Diffusion Models for Ancient Japanese Manuscripts	2024 年 11 月	the 2024 International Conference on Cyber-physical Social Intelligence (ICCSI 2024) , カタール	Yuya Yoshizu, Hayata Kaneko, Ryuto Ishibashi, Lin Meng, Mingcong Deng
69.	孟 林	Androidを用いた残飯量測定システム	2024 年 10 月	IEE C 部門 制御研究会、大分	林 駿介, 孟 林
70.	孟 林	りんごの外観検査に向けた YOLO の改善	2024 年 10 月	IEE C 部門 制御研究会、大分	松井 敦己, 孟 林
71.	孟 林	特徴抽出の最適化による異常検知モデルのコンパクト化	2024 年 10 月	IEE C 部門 制御研究会、大分	長瀬 亜依, 李 卓, 孟 林
72.	孟 林	Visual Anomaly Detection with Self-Attention and Separate Memory Bank	2024 年 10 月	2024 IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC), マレーシア	Kosaburo Hattori, Ryuto Ishibashi, Hayata Kaneko, Tomonori Izumi, and Lin MENG
73.	孟 林	Estimation and Optimization of DNNs for Embedded Platforms	2024 年 10 月	2024 International Conference on Hardware/Software Codesign and System Synthesis (CODES+ISSS), アメリカ合衆国	Axel Jantsch, Song Han, Lin Meng, Oliver Bringmann, Haoting Tang, Shang Yang, Hengyi Li, Matthias Wess, Martin Lechner
74.	孟 林	Deep learning-driven digital twin-enabled smart monitoring system	2024 年 9 月	The 28th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems (KES2024), スペイン	Yifei GE, Zhuo LI, and Lin MENG
75.	孟 林	A Powerful Object Detection Network for Industrial Anomaly Detection	2024 年 8 月	the 6th International Conference on Industrial Artificial Intelligence, 中華人民共和国	Yifei Ge, and Lin Meng
76.	孟 林	Analysis Towards Deployment and Acceleration for ViT on a	2024 年 8 月	the 6th International Conference on Industrial Artificial Intelligence, 中華人民共和国	Yifei Ge, and Lin Meng

		Lightweight RISC-V Processor,			
77.	孟 林	ViT-Based Hybrid Segmentation for Leftover Food Detection	2024 年 8 月	the 6th International Conference on Industrial Artificial Intelligence, 中華人民共和國	Ryuto Ishibashi, and Lin Meng
78.	孟 林	A Review on FPGA-Based Optimization and Applications of Deep Learning Convolutional Neural Networks	2024 年 8 月	The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2024),Shiga	Zhongyu WANG, Qi LI, Yifei GE, and Lin MENG
79.	孟 林	An Improved YOLOv8 Tomato Leaf Disease Detector Based on Efficient-Net backbone	2024 年 8 月	The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2024),Shiga	Runqian ZHANG, Yifei GE, Qi LI, and Lin MENG
80.	孟 林	Leftover Food Measurement using Deep Learning Based Semantic Segmentation	2024 年 8 月	The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2024),Shiga	Haruhiro TAKAHASHI, Ryuto ISHIBASHI, Hayata KANEKO, and Lin MENG
81.	孟 林	Norm-Regularized Token Compression in Vision Transformer Networks	2024 年 8 月	The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2024),Shiga	Masayuki ISHIKAWA, Ryuto ISHIBASHI, and Lin MENG
82.	孟 林	Simulation of Hydrogel 4D Printing Using RNN	2024 年 8 月	The 6th International Symposium on Advanced Technologies and Applications in the Internet of Things (ATAIT 2024),Shiga	Yifan XU, Mengtao WANG, Zhongkui WANG, and Lin MENG
83.	孟 林	A deep learning-based method facilitates scRNA-seq cell type identification	2024 年 7 月	2024 International Conference on Neural Computing for Advanced Applications, 中華人民共和國	Xin Wang, Zhuo Li, Jie Han, Ren Xu, and Lin Meng
84.	孟 林	RNN を用いたハイドロゲル 4D プリンティングのシミュレーションモデリング	2024 年 5 月	ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2024 in Utsunomiya、宇都宮	徐 一凡, 王 夢濤, 王 忠奎, 孟 林
85.	孟 林	AI を用いた拓本の自動整理 とそれに向けた拓本文字データセットの構築	2024 年 5 月	IEE C 部門 制御研究会、熊本大学	王 相衡, 蘇 振嶺, 金子 隼大, 孟 林
86.	孟 林	バイオガスプラントの監視 IoT システム構築に関する検討	2024 年 5 月	IEE C 部門 制御研究会、熊本大学	福坂 陽, Zenghui WANG, 孟 林
87.	孟 林	Optimization and Deployment of DNNs for RISC-V-based Edge AI	2024 年 4 月	The 2024 IEEE International Conference on Real-time Computing and Robotics (IEEE RCAR 2024), ノルウェー	Zhenling SU, Qi LI, Hayata KANEKO, Hengyi LI, Lin MENG
88.	矢野桂司	Creating a gazetteer of place names on old Japanese topographical maps using MapKurator	2025 年 3 月	2025 AAG Annual Meeting, USA	Keiji Yano, Kazumasa Hanaoka, Ryo Kamata
89.	矢野桂司	日本地理学会と人文地理学会の歩みと発展: 協働による地理学界の未来	2025 年 3 月	2025 年日本地理学会春季学術大会、駒澤大学	矢野桂司
90.	矢野桂司	日本文化資源デジタル・アーカイブの DX : パーチャル京都による空間人文学の展開	2025 年 2 月	韓国日本学会 第 109 回 国際学術大会、淑明女子大学	矢野桂司
91.	矢野桂司	The Virtual Kyoto Project as a Tool for Digital Humanities	2024 年 11 月	2024.11.16-113th Annual Meeting of the Research Center for Chinese Cultural Metaverse in Taiwan, "Metacosmic Digital Humanities Research Driven by Generative Artificial Intelligence", 台湾	Keiji Yano
92.	矢野桂司	PLATEAU を用いた過去の 3D 都市モデルの構築—終戦直後の京都市の事	2024 年 10 月	第 33 回地理情報システム学会学術研究発表大会、京都大学防災研究所	桐村 喬、矢野 桂司、井上 萌来

		例—			
93.	矢野桂司	多様な地理空間情報を活用した京都市内の京町家分布の時空間的変容	2024 年 10 月	第 33 回地理情報システム学会学術研究発表大会、京都大学防災研究所	井上 萌来、田畑 勇也、矢野 桂司
94.	矢野桂司	Constructing a place-name dictionary for the present and the past - a case study of the old Japanese maps	2024 年 8 月	the 35th International Geographical Congress 2024、アイルランド	Keij Yano, Kzaumasa Hanaoka, Ryo Kamata
95.	矢野桂司	Urban Analysis of Mobile Phone Big Data and the COVID-19 Pandemic	2024 年 8 月	the 35th International Geographical Congress 2024、アイルランド	Kazumasa Hanaoka and Keij Yano
96.	矢野健一	押型文土器の起源と変遷	2025 年 3 月	関西縄文文化研究会、京都	矢野健一
97.	矢野健一	山内清男の高島黒土遺跡発掘成果と縄文土器編年研究	2024 年 9 月	関西縄文文化研究会 9 月例会、奈良	矢野健一
98.	矢野健一	琵琶湖の水中考古学の成果と課題	2024 年 9 月	「琵琶湖の環境～古（いにしえ）から現在まで～」 琵琶湖・環境イノベーションセンター シンポジウム、滋賀	矢野健一
99.	矢野健一	AUV を用いた葛籠尾崎湖底遺跡探査の概要	2024 年 7 月	日本文化財科学会第 41 回大会、東京	矢野健一（立命館大学）熊谷道夫（同左）西田祐也（九州工業大学）杉松治美（東京大学）井上昇悟（いであ株式会社）宮川亮（九州工業大学院生）小田崎宥成（同左）
100.	矢野健一	滋賀県米原市杉沢遺跡 2023 年度発掘調査成果と土器棺出土状況の 3D 画像復元	2024 年 5 月	日本考古学協会第 90 回総会、千葉	矢野健一（立命館大学）・Corey Tyler NOXON（同左）・迫田圭一郎（倉敷市教育委員会）・菅井佳穂（茅野市役所）・井上薫（立命館大学院生）・手嶋響紀（立命館大学学生）・高橋順之（米原市教育委員会）・石田雄志（同左）・立命館大学杉沢遺跡発掘調査団
101.	李 亮	Analysis of Law-Abiding Behavior in the Metaverse Applied Real-World Traffic Regulations	2024 年 11 月	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	MinWoo Yun, HaeJong Joo, Liang Li, and Woong Choi
102.	李 亮	Building a Crop Environmental Data Monitoring System Using Blockchain-Based Smart Contracts	2024 年 11 月	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	NaYoung Jung, HyunWoo Kang, Liang Li, and Woong Choi
103.	李 亮	Developing a Three-Dimensional Motion Data Analysis System Using the Hilbert-Huang Transform	2024 年 11 月	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	SeungMin Jeon, HyunSoo Shin, JungHo Ahn, HaeJong Joo, Liang Li, and Woong Choi
104.	李 亮	Development of a Cryptocurrency Futures Trading System Based on High and Low-Price Data Using LSTM	2024 年 11 月	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	MinSeok Choi, HaeJong Joo, Liang Li, and Woong Choi
105.	李 亮	Proposing the Blend Pixel Algorithm (BPA) for Enhancing 2D Image Quality of CartoonGAN	2024 年 11 月	2024 IEEE 13th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE 2024)	Stellar Choi, YouMin Jung, MinSeo Kim, Liang Li, HyunSook Lee, and W. Choi
106.	李 亮	Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief Type Cultural Heritage from a Single Old Photo	2024 年 10 月	32nd ACM International Conference on Multimedia (ACM MM 2024)	Jiao Pan, Liang Li, Hiroshi Yamaguchi, Kyoko Hasegawa, Fadjar Ibnu Thufail, Brahmantara, Xiaojuan Ban, and Satoshi Tanaka
107.	李 亮	A point cloud-based VR visualization system for	2024 年 9 月	The 43rd JSST Annual International Conference on	Takahito Koshiba, Kyoko Hasegawa, Liang Li, and Satoshi

		the Western Pagoda of Taimadera Temple enhanced with feature-integrated navigation		Simulation Technology (JSST2024)	Tanaka
108.	李 亮	Enhanced Transparency Visualization of 3D Point Clouds Based on Color and Opacity Gradations," The 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024)	2024 年 9 月	The 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024)	Yuri Yamada, Liang Li, Satoshi Takatori, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka
109.	李 亮	Enhanced Transparency Visualization of 3D Point Clouds Based on Color and Opacity Gradations," The 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024)	2024 年 9 月	The 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024)	Yuri Yamada, Liang Li, Satoshi Takatori, Kyoko Hasegawa, and Satoshi Tanaka
110.	李 亮	Noise Transparentization Approach for High-precision Visualization of 3D Scanned Point Clouds	2024 年 9 月	23rd Asia Simulation Conference (AsiaSim2024)	Qingyu Mao, Tomomasa Uchida, Kyoko Hasegawa, Satoshi Takatori, Liang Li, and Satoshi Tanaka
111.	李 亮	VR Comparative Visualization Learning Support System for Japanese Traditional Dance Beginners Using Skilled Practitioner Motion Data	2024 年 9 月	The 43rd JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2024)	Daiki Yokoyama, Liang Li, Satoshi Takatori, Kyoko Hasegawa, Nao Shikanai, and Satoshi Tanaka
112.	李 亮	Analysis of the Influence of Body Support Conditions on the Sensation of Sway in a Swing-type VR	2024 年 9 月	第 29 回日本バーチャルリアリティ学会大会、名古屋	潘 虹羽, 安藤 潤人, 李 亮, 野間 春生
113.	李 亮	3D Reconstruction and Visual Analysis of Large-scale Cultural Heritage	2024 年 8 月	日本 OR 学会中国・四国支部シンポジウム「データサイエンス・機械学習」、広島大学	Liang Li
114.	李 亮	3D Reconstruction and Visualization of Large-Scale Cultural Heritage Sites	2024 年 7 月	International Forum, The 11th China Visualization and Visual Analytics Conference (ChinaVis2024)	Liang Li
115.	李 亮	3次元計測点群の半透明可視化における主成分分析に基づく法線ベクトルの陰影効果	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム	野尻捷月, 鷹取慧, 長谷川恭子, 李亮, 田中覚
116.	李 亮	AI と VR を用いた大規模文化遺産の 3 次元復元とビジュアル分析	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム、沖縄産業支援センター	李 亮
117.	李 亮	VisAssets を用いた潮流シミュレーションの時系列 VR 可視化	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム	宮地英生, 河原隼斗, 川原慎太郎, 長谷川恭子, Liang Li, 田中 覚
118.	李 亮	ポイントベースデプスベールを用いた 3 次元点群のノイズ透明化手法	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム	茅清宇, 長谷川恭子, 鷹取慧, 李亮, 田中覚
119.	李 亮	熟練者モーションデータを用いた日本舞踊初学者のための VR 比較可視化学習支援システム	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム	横山大貴, 李亮, 鷹取慧, 長谷川恭子, 鹿内菜穂, 田中覚
120.	李 亮	色と不透明度グラデーションに基づく 3 次元点群の特徴強調半透明可視化	2024 年 7 月	可視化情報学会 第 52 回可視化情報シンポジウム	山田祐里, 鷹取慧, 李亮, 長谷川恭子, 田中覚

121.	SEIFMAN Travis	Photography by Terada Kento: Challenging, Imagining, and Performing Gender	2025 年 3 月	Association for Asian Studies, USA	Travis Seifman
122.	SEIFMAN Travis	Japan is Not Our Fatherland: Yamazato Eikichi Resisting Reversion from within the Ryukyu Government	2024 年 8 月	Re-examining Japan's Cold War, イ ギリス	Travis Seifman
123.	橋本真佐子	「同人雑誌『月映』にお ける詩と版画の関係―田中 恭吉《絢はれゆく歓喜と 悲愁》と「寥人孤詠」を 中心に―」	2024 年 6 月	日本比較文学学会全国大会	
124.	Doreen MUELLER	Representing the Buddhist Nun Otagaki Rengetsu as an Icon of Cultural Authenticity in 1930s Japan	2024 年 10 月	AAS Seattle 2024,	
125.	Doreen MUELLER	Becoming Ōtagaki Rengetsu: Misrepresentation of a Buddhist Nun	2024 年 12 月	SOAS Symposium <i>Making the Subject of Portraiture in a Trans- Asian Context ca. 1000-Present Day</i>	
126.	田 島 等	「日本のクリエイティブ ファッション創設期につ いて」	2024 年 9 月	香港・恒生大学	
127.	金子貴昭	Publication of Shin- Hanga (New Woodcut Prints) by Shōtarō Satō and the Existing Woodblocks	2024 年 10 月	ベトナム国家大学ハノイ校 (Vietnam National University, Hanoi) で開催 された「第 10 回 IAPW 国際会議 (Printing Wordblock - Heritage and Technology)」	
128.	塚本 章宏	Improving Tourism Image Classification with AI Generated Descriptions: A Comparative Analysis of LLaVA and BLIP Models	2024 年 9 月	5th International Conference on Data Engineering and Communication Technology	Suguru Tsujioka, Kojiro Watanabe, Akihiro Tsukamoto, Muneyuki Natsume
129.	土田勝	“Mechanical Performance of Engineered Heart Tissue Can Be Measured with POC-Based Video Analysis”	2024 年 7 月	EMBC	M. Tsuchida, M. Hasegawa, K. Miki, S. Miyagawa, K. Kashino

(4). 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	日韓次世代デジタル・ヒューマニティー ズ (DH) フォーラム	ハイブリッド	2024 年 7 月	109	
2	ARC Days2024	ハイブリッド	2024 年 8 月	100	
3	成果発表会	ハイブリッド	2025 年 2 月	100	
4	大英博物館との共同シンポジウム	ハイブリッド	2024 年 9 月	125	[主催] (英国側) 大英博物館 [主催] (日本側) 立命館大学アート・リサーチセンター
5	第 130 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 4 月	46	
6	第 131 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 4 月	31	
7	第 132 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 5 月	33	
8	第 133 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 5 月	27	
9	第 134 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 6 月	25	

10	第 135 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 6 月	100	
11	第 136 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 7 月	22	
12	第 137 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 7 月	21	
13	第 138 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 10 月	25	
14	第 139 回国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 10 月	45	
15	国際 ARC セミナー特別編	ハイブリッド	2024 年 11 月	41	
16	第 140 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 11 月	24	
17	第 141 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 11 月	25	
18	第 142 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 12 月	28	
19	第 143 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2024 年 12 月	21	
20	第 144 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2025 年 1 月	30	
21	第 145 回 国際 ARC セミナー	Zoom	2025 年 1 月	39	
22	国際 ARC セミナー特別編	Zoom	2025 年 2 月	23	
23	Special Lecture by Prof. Mona Gamal Eldin Ibrahim	ARC	2024 年 4 月	15	
24	京坂文化サロン・プロジェクト ワークショップ	Zoom	2024 年 6 月	14	大英博物館
25	国際合同コロキウム	ハイブリッド	2024 年 6 月	28	カリフォルニア大学バークレー校 日本研究センター(CJS)、
26	「2024 東アジア国際演劇シンポジウム 東アジア文化圏の「自」文化ーグローバル 化による大衆的な上演文化の多様性と一 様性」	中之島芸術センタ ー	2024 年 11 月	150	国立台北芸術大学、東アジア大衆演劇研究会
27	第 14 回 「知識・芸術・文化情報学研究 会」	ハイブリッド	2025 年 3 月		情報知識学会関西支部、アート・ドキュメンテ ーション学会関西地区部会

(5). その他研究活動 (報道発表や講演会等)				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	田中 寛	3D Image Reconstruction to Preserve Cultural Heritage	ACM TecNews, (November 4, 2024 edition)	2024 年 11 月～11 月
2	竹中悠美	Collective Images in Social Changes from Photography in 20th Century to Ukiyo-e in 18th Century		2024 年 7 月～7 月
3	竹中悠美	Visiting Scholar in the Nottingham School of Art & Design at Nottingham Trent University		2024 年 6 月～8 月
4	孟 林	交差分野の AI 研究について	電気学会	2024 年 5 月 18 日
5	矢野健一	縄文時代の人口	京都大学総合博物館	2024 年 5 月 11 日
6	Jiao Pan	2024. Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief-Type Cultural Heritage from a Single Old Photo. In Proceedings of the 32nd ACM International Conference on Multimedia	Melbourne, VIC, Australia	2024
7	加茂瑞穂	けやきの森市民大学・立命館大学土曜講座 連携講座「服飾文化と日本美術」	高槻市立生涯学習センター	2024
8	加茂瑞穂	喜多方市教育委員会 会津型ウィーク 2024「型紙をつなぐーデジタル・アーカイ ブの可能性ー」	喜多方市蔵の里	2024

9	花崎あゆみ	京町家状況調査（京都市より受託） 担当	京都市 景観・まちづくりセンター	2024
10	金子貴昭	Publication of Shin-Hanga (New Woodcut Prints) by Shōtarō Satō and the Existing Woodblocks	Vietnam National University(ハノイ市)	2024
11	Alessandro Bianchi	A legendary collection of Japanese illustrated books: the lost library of Eugène Gillet	Cambridge	2024
12	鹿内菜穂	Relationships between anxiety and body sway: A case study of university students. The 33rd International Congress of Psychology	Prague, Czech Republic	2024.07.22
13	鹿内菜穂	軽運動が認知機能に与える効果	ヨガおよびダンスの実験・介入実践研究より、第1回「発達の臨床と理論」談話会	2024.09.14
14	Alessandro Bianchi	Books, Blocks, and Beyond: Print Culture in Japanese Art	National Museum of Asian Art	2024
15	IEZZI Julie Ann	Nihonjin Shibai to 'Ōkabuki'-The early decades of Kabuki in Hawai'i (1890s-1920s)	Association for Asian Performance Annual Conference	2024
16	IEZZI Julie Ann	Director, Translator, Adaptor. 『弁天娘 男白波』 The Maiden Benten and the Bandits of the White Waves, for production at Kennedy Theatre	Seiruyū Bunka Plaza	2024
17	IEZZI Julie Ann	"Hawai'i Kabuki: Connections through Space and Time"	East West Center Gallery, Honolulu	2024
18	細井尚子	モデレーター・ゲストディスカッサント 「重思劇場／戯劇作為一種相遇：2024 臺大劇場國際學術研討會」	台湾大学戯劇学院主催、於台湾大学	2024
19	MARCEAU LAWRENCE EDWARD	研究発表「上田秋成作「にせえにし」考ー生と死、そして蘇生についてー」。日文研国際共同研究プロジェクト「胎内から墓場までー現代における死生観の解明」	国際共同研究会	2024.07.20
20	MARCEAU LAWRENCE EDWARD	研究発表「入定と蘇生ー上田秋成作「にせえにし」から考えるー」。京都近世小説研究会12月例会（国内学会）	京都近世小説研究会12月例会（国内学会）	2024.12.14
21	瀬戸寿一	米国版「地理情報科学・技術の知識体系」改訂事項のコンテンツ分析	024年度日本地理学会春季学術大会、青山学院大学、東京都渋谷区	2024年3月20日
22	瀬戸寿一	Fundamental Analysis of Human Mobility Data Based on Mobile Phone Location Information During the COVID-19 Pandemic	A Case Study of Toyama City, 5th International Time Geography Conference, Toyama, JAPAN	2024.08.02
23	瀬戸寿一	Spatio-temporal Editing Trends Validation of Volunteer Geographic Information with Manual and AI-assisted	35th International Geographical Congress, Dublin, Ireland	August 28th, 2024
25	倉橋正恵	「近世文化形成における芸能情報の文芸化、及び商品化についての研究」（継続中）	立命館大学（共同研究）	2023-2026年度
26	杉浦和子	前近代日本の「万国人物図」群が示す人種観と世界観に関する総合人文的研究	京都大学	2022年度～2025年度
27	杉浦和子	古地図に描かれる山西辺境地域ならびに首都北京の防衛空間の構造分析	京都大学	2018-04-01 - 2024-03-31
28	瀬戸寿一	「昭和と令和をつなげる『兵庫コレクション』ー景観写真が教えてくれることー」	『月刊小樽學』第187号	2024年10月
29	瀬戸寿一	「昭和の写真から今を見つける」展	小樽市総合博物館	2025年1月18日-3月30日
30	常木佳奈	「出版学における木版口絵研究のためのデジタルアーカイブデザイン」	日本出版学会第21回国際出版研究大会	2024年11月9日
31	常木佳奈	「久留米高専における小中学生向け早期STEAM教育の取組」	日本工学教育協会第72回年次大会	2024年9月6日

32	常木佳奈	「機巧図彙を題材とした STEAM 教材開発」	日本設計工学会九州支部 2024 年度研究発表講演会	2024 年 6 月 1 日
33	廣瀬千紗子	「江戸人と読書」	同志社女子大学	2025 年 1 月 9 日
34	細井尚子	近現代日本・台湾の舞台性大衆娯楽の総合的研究と東アジア文化圏研究の国際的拠点拡充	立教大学	2022-04-01 – 2025-03-31
35	矢野明子	大英博物館所蔵刀装具のデジタル化継続による金工品撮影方法の応用と多様化の試み	大英博物館	2024
36	山田雅美	自然災害と能登半島の伝統工芸	英国日本人会 紅葉会	2024 年 10 月 24 日
37	山本真紗子	19 世紀末から 20 世紀初頭の欧米の「日本美術」愛好を支えたネットワーク	京都市立芸術大学	2024
38	Annegret BERGMANN	日本初の国立劇場設立をめぐる：1945 年以降の文化政策と演劇史の観点から	神戸大学	2024 年 11 月 8 日
39	Diego CUCINELLI	CROSSING VISIONS: イタリアで日本語と日本文化を教える	大東文化会館	2024 年 10 月 20 日
40	Julie Ann IEZZI	歌舞伎公演 (Kabuki in English) 作品名：『The Maiden Benten and the Bandits of the White Waves』	ハワイ大学マノア校 ケネディ・シアター	2024 年 4 月 19-20 日、26-28 日
41	Julie Ann IEZZI	展示企画「Hawai'i Kabuki: Connections Through Time and Space」	イースト・ウエスト・センター・ギャラリー (ホノルル)	2024 年 1 月 28 日～5 月 5 日
42	Diego Pellecchia	招待講演：能を通じた異文化の旅	国際教養大学	2024 年 6 月 18 日
43	Jiao PAN(潘姣)	Reconstructing, Understanding, and Analyzing Relief-Type Cultural Heritage from a Single Old Photo	ACM Multimedia 2024 (CCF A ランク)	2024 年 10 月 28 日～11 月 1 日
44	Jiao PAN(潘姣)	中央基本科研业务费-青年交叉项目	北京科技大学	2023-2024
45	Jiao PAN(潘姣)	中华民族共同体研究院重点项目	北京科技大学	2024-2025
46	Simon Kaner	How Japanese Arts and Cultures Can Make Us Happier	Japan Foundation Awards 2024	2025 年 1 月 16 日
47	HAFT Alfred	Capturing Nature', in Salon Culture in Japan: Making Art:		2024
48	Vesco Silvia	A study of Symbolism and Iconography in late kofun period decorated tombs		2024
49	Vesco Silvia	Representation of Women and the Role of Women Artists between Japan and Korea		2024
50	Vesco Silvia	The problem of copyright in cultural heritage		2024
51	Vesco Silvia	The image of Benzaiten from Indian iconography to Japan		2024
52	Vesco Silvia	Representations of Women in Japanese art, Istituto Veneto di Scienze Lettere e Arti, Venice		2024
53	丸川雄三	「研究資料デジタルアーカイブの公開と活用—X-DiPLAS の取り組みを例に」	国立民族学博物館	2024.11.17
54	矢野 明子	City life and salon culture in Kyoto and Osaka		2024
55	Ellis Tinios	“Kusazōshi as material objects” in Graphic narratives in Early Modern Japan:		2024
56	Ellis Tinios	Printed manuals and the popularisation of art' in Salon Culture in Japan: making art		2024
57	細井尚子	“打破常規”与“走样”——关于传统戏剧的现代化（「型破り」と「型くずれ」—伝統的演劇の現代化）	纪念梅兰芳诞辰 130 周年国际研讨会、中国芸術研究院聯合国家京劇院、梅蘭芳紀念館、恭州市人民政府主催	2024
58	細井尚子	モデレーター・ゲストディスカッサント 「重思劇場／戯劇作為一種相遇：2024		2024

		臺大劇場國際學術研討會」台湾大学戲劇學院主催		
59	IEZZI Julie Ann	Director, Translator, Adaptor. 『弁天娘女 男白波』 The Maiden Benten and the Bandits of the White Waves		2024
60	IEZZI Julie Ann	Hawai'i Kabuki: Connections through Space and Time" East West Center Gallery		2024
61	IEZZI Julie Ann	"From 'Nihonjin Shibai' to 'Ōkabuki'-- The early decades of Kabuki in Hawai'i		2024

(6). 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	西浦 敬信	日本音響学会関西支部	奨励賞		2024 年 12 月
2	西浦 敬信	電子情報通信学会	基礎・境界ソサイエティ 貢献賞		2024 年 9 月
3	THAWONMAS Ruck	2025 IEEE International Conference on Consumer Electronic (ICCE2025)	IEEE Consumer Electronics Magazine 2024 Best Paper Award (2nd Place)	eXtended meta-uni-omni-Verse (XV): Introduction, Taxonomy, and State-of-the-Art	2025 年 1 月
4	THAWONMAS Ruck	8th International Conference on Information Technology (InCIT2024)	InCIT2024 Best Paper Award	Temporal Collage Prompting: A Cost-Effective Simulator-Based Driving Accident Video Recognition With GPT-4o	2024 年 11 月
5	常木佳奈	日本工学教育協会 第 72 回年次大会	2024 年度 JSEE 研究講演会 発表賞	久留米高専における小中学生向け早期 STEAM 教育の取組	2024 年 10 月

(7). 科学研究費助成事業 (科研費)						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	赤間亮	第三期(安永～享和期)役者評判記の出版に関する総合的研究	基盤研究(B)	2021 年 4 月	2026 年 3 月	分担
2	稲葉 光行	仮想空間を媒介とした日本文化に関する状況学習支援環境に関する総合的研究	基盤研究(B)	2020 年 4 月	2025 年 3 月	代表
3	稲葉 光行	看護研究における混合研究法教育用ガイドブックの開発と e ラーニングの構築	基盤研究(B)	2020 年 4 月	2025 年 3 月	分担
4	小寺 未知留	レナード・マイヤーの音楽情動論・様式変遷論と音楽研究史の学際性	若手研究	2023 年 4 月	2028 年 3 月	代表
5	斎藤 進也	学術成果の発信のための仮想展示環境に関する研究	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
6	斎藤 進也	昭和期の映画館文化に関するノンフィルム資料アーカイブの構築	基盤研究(C)	2022 年 4 月	2025 年 3 月	分担
7	竹中悠美	ニューヨーク近代美術館における写真史編纂の系譜学	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表
8	谷徹也	文化・情報の交錯からみた東アジア「近世化」論—壬辰戦争の背景と影響—	若手研究	2022 年 4 月	2026 年 3 月	代表
9	西浦 敬信	次世代ピンスポットオーディオシステムの基盤創成と体系化	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
10	西浦 敬信	音の身体性が心理情報処理に及ぼす影響の基盤解明とその応用	基盤研究(A)	2021 年 4 月	2025 年 3 月	分担
11	西浦 敬信	音像ホログラフィを用いた音響トレイグジスタンス技術の基盤開発	基盤研究(B)	2021 年 4 月	2025 年 3 月	分担
12	西林 孝浩	北朝後期仏教美術の再構築	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2027 年 3 月	代表
13	矢野桂司	学際的な研究基盤となる日本の「GIS 地名辞書」の開発に関する地理学的研究	挑戦的研究 (開拓)	2022 年 6 月	2027 年 3 月	代表
14	矢野桂司	デジタル社会における地図リテラシーの再構築	基盤研究(B)	2022 年 4 月	2025 年 3 月	分担
15	矢野桂司	不完全空間情報による空間推論のためのツールボックスの開発と応用	基盤研究(A)	2022 年 4 月	2027 年 3 月	分担

16	矢野桂司	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
17	矢野桂司	個人のライフコースと地域環境の変化を統合する健康地理学の研究	基盤研究(A)	2020年4月	2025年3月	分担
18	李 亮	実世界大規模構造物の形状理解のための、3次元計測ビッグデータの超高精細可視化	基盤研究(A)	2021年4月	2025年3月	分担
19	李 亮	3次元画像認知メカニズムの解明へ向けた実験基盤の構築とその応用	基盤研究(C)	2022年4月	2025年3月	代表
20	李 亮	動的デザインと「美しさ」への感性	基盤研究(C)	2023年4月	2026年3月	分担

(8). 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1.	赤間亮	共同利用・共同研究システム形成事業～特色ある共同利用・共同研究拠点支援プログラム～（日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点）機能強化支援	令和6年度共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金	2023年4月	2025年3月	代表
2.	中村彰憲	日本のゲーム制作と知的財産マネジメントプログラム	テンセントテクノロジー	2024年4月	2024年12月	代表
3.	赤間亮	大阪松竹座戦前興行関連資料のデジタル化と閲覧システム構築による関西興行史研究への活用	公財)松竹大谷図書館	2024年4月	2025年3月	代表
4.	赤間亮	令和6（2024）年度「国際日本研究」コンソーシアム公募事業	『古文書・古典籍の読解（くずし字解読）を通じた若手研究者の国際交流事業』	2024年6月	2025年3月	代表
5.	赤間亮	東京芸術劇場所蔵資料のデジタル化及びアーカイブ構築に関する研究	公)東京都歴史文化財団	2024年10月	2025年3月	代表
6.	赤間亮	ALVR 技術を用いたデジタルアーカイブ文化資源を活用した事業化推進	株式会社ハイシンク創研	2024年8月	2025年3月	代表
7.	矢野桂司	京町屋状況調査業務における地理空間情報テム(GIS)査分析および調査手法の開発	公)京都市景観・まちづくりセンター	2024年9月	2025年3月	代表
8.	赤間亮	「国際交流のタベ 能と狂言の会」における実演映像素材政策および配信等による鑑賞機会創出の実例研究	独)国際交流基金 京都	2024年7月	2025年12月	代表
9.	赤間亮	国立音楽大学附属図書館所蔵 近代音楽資料の研究活用のためのデジタルアーカイブの構築と公開手法に関する研究	国立音楽大学附属図書館	2024年9月	2025年3月	代表
10.	赤間亮	第4回忠臣蔵浮世絵デジタル展示会の構築	赤穂市	2024年4月	2025年3月	代表
11.	赤間亮	JPP デジタルアーカイブプロジェクト	UCLA Yanai Initiative	2025年1月	2025年6月	代表
12.	赤間亮	デジタルスポーツアーカイブの構築	独法)秩父宮スポーツ博物館	2024年6月	2025年3月	代表
13.	赤間亮	上方文化サロン：人的ネットワークから解き明かす文化創造空間 1780-1880	日本学術振興会	2021年10月	2025年3月	代表

(9). 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1	西浦 敬信	高減衰エッジ型パラメトリックスピーカ			特願 2021-092599	PCT/JP2022/7867	United States Patent, No.: US 12,185,058B2	アメリカ